

案内

大学クリスマス礼拝

相模原キャンパス

日時 12月20日(木) 17時50分～19時5分

場所 ウェスレー・チャペル

説教 「あなたの未来には希望がある」

高砂民宣 (大学宗教主任・経営学部准教授)

相模原キャンパス オルガニスト養成講座受講生発表会

日時 12月17日(月) 18時15分

場所 ウェスレー・チャペル

Art・クリスマス・Aoyama

会期 12月20日(木) 15時まで

テーマ 「地の塩 世の光」

内容 本学院の幼稚園から大学院までの園児・児童・生徒・学生たちによるクリスマスにちなんだ美術作品の展示他、スタンプラリーやもみの木の飾りつけなどもあります。

展示場所 青山キャンパス 各部

第37回オール青山メサイア公演

日時 12月23日(日・祝) 17時開演

場所 青山学院講堂 全席指定1500円

東日本大震災の被災地を覚えての祈祷会

被災された方々とそのご家族、復興のために尽力されている方々を覚え、共にお祈りください。

2013年1月11日(金)

青山キャンパス 本部礼拝堂 12時35～13時

相模原キャンパス ウェスレー・チャペル2階 小礼拝堂 12時35分～13時

2012年度 クリスマス献金送付先

今年度も皆様のご協力をお願い致します。

●東京自殺防止センター(<http://www.befrienders-jpn.org>)

自殺を考えている人々、苦悩状態にある人々に、感情面での支えを提供することを目的とした団体。所定の訓練を受けたビフレンディング(Be-friend-ing)を行う「ビフレンダー」によって活動が行われている。

●JOCS日本キリスト教海外医療協力会(<http://www.jocs.or.jp/jocs/>)

「みんなで生きる」をモットーとし、1960年の創立以来、一貫してアジアやアフリカの保健医療に恵まれない地域に医療従事者を派遣しているNGO団体。東日本大震災の被災地にも医師やワーカーを派遣。

●日本聾話学校(<http://nrg.ac.jp/>)

1920年にライシャワ博士夫妻によって創立された日本で唯一の私立聾話学校(本学相模原キャンパス近く町田市野津田)。補聴器・人工内耳を装用した早期からの聴覚主導教育により、自らの能力や個性を十分に生かし、自立した人間の形成を目指した教育を展開。

青山学院大学礼拝週報

2012. 12. 17.

待降節第3週

No. 30

キリスト教のシンボル [28]

「星」

クリスマス物語でひときわ目立って印象的なのは、東方の学者たちをイエス・キリストの誕生の地ベツレヘムへと呼び寄せた大きな星です。その星は、今なおクリスマスに欠かせないものとして、街のクリスマス・デコレーションに、クリスマス・ツリーの一番上に輝き続けています。星は闇夜に輝きます。闇が深ければ深いほど、星は鮮やかに輝き、人々のなくてはならない道しるべとなります。「彼らが王の言葉を聞いて出かけると、東方で見た星が先立って進み、ついに幼子がいる場所の上に止まった。学者たちはその星を見て喜びにあふれた。」(マタイによる福音書2:9,10)

長い暗黒の時代をくぐり抜けて、ようやく与えられた希望の星イエス・キリスト。その誕生は人類の歴史の大きな転換点となり、永遠の希望の約束となりました。



今年度の主題聖句

わたしたちは知っているのです、苦難は忍耐を、

忍耐は練達を、練達は希望を生むということを。

(ローマの信徒への手紙 第5章3,4節)